

がまこおり 議会 だより

1月市議会臨時会・3月市議会定例会

一般質問…ここが論点 ……………	2～6
議決された主な議案 ……………	7～9
平成 25 年度一般会計予算 253 億 4,400 万円	
議会日誌、5月臨時会・6月定例会予定 ……	10

NO. **77**
2013.5



本会議場によろこそ（三谷東小学校議場見学）

一般質問…ここが論点

3月定例会

3月市議会定例会中、4日、5日、6日の3日間で、3人の議員が会派を代表して質問し、9人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。

発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

また、ユーストリームライブ中継と録画放映も実施していますのでご覧ください。

蒲郡自由クラブ
代表 伴 捷文

堅実な行財政運営
について

問 市長は、マネフェストで市債残高10%削減をうたっているが、今後どのように対応していくのか。

答 決算額での実績は平成23年度末の臨時財政対策債を除く残高は約386億円で、22年度末と比較すると、5%削減している。25年度は、増加要因もあり、難しい目標数値だが、返済額より多くは借りない



予算大綱説明を行う稲葉市長

という原則をもとに、市債の発行額をコントロールしていきたい。

こころ豊かな教育の
充実について

問 教職員の心得として、新しく赴任した教員の教育について、どのように行っているのか。

答 法律で定められた研修年間を通して行われている。24年度は、校外研修として教員の心構え、社会的奉仕体験活動、集団宿泊体験などを行い、実践力を高める研修を20回、そして、校内研修として学級経営や授業づくりなど拠点校指導教員などから指導を受ける研修を150時間行っている。

定住促進事業について

問 人口増加は、地域の経済、産業の活性化や個

人・法人市民税納税増加による財源確保につながる。定住促進事業について、現在の考えを伺う。

答 人口問題への取り組みは、市の最重要課題と認識している。この課題を解決するため、専門的に取り組むプロジェクトチームを立ち上げ、調査研究を行ってきた。

その結果、市が行うべき施策として「住宅建設、土地利用にかかわる各種規制の緩和」、「蒲郡に住むことの魅力を市内外へ情報発信するプロモーション活動の推進」、「働く場を確保



新設された市役所企業立地推進課

するための企業誘致や新産業の創出」という3つの柱が必要であると考えている。

新産業創出事業
について

問 ヘルスケア計画策定事業について、現在の考えを伺う。

答 市民の健康に対する調査や、市内外の企業との意見交換、ヘルスケア分野の専門家などから情報収集を行い、蒲郡のヘルスケアの目指すべき姿を考えてきた。

問 新年度は、ヘルスケア計画を検討する産・学・官・民による協議会を立ち上げ、課題の検討を進め、具体的なヘルスケアのまちを描いていきたいと考えている。

答 アワビの陸上養殖の現状と今後について伺う。現状は、がまごおり産学官ネットワーク会議を中心に、三谷水産高校、愛知県水産課、愛知県水産試験場との協力度体制を構築してきた。

今後の計画は、25年秋以降に養殖設備を整備し、そ



平成24年に生命の海科学館で開かれたメタンハイドレートシンポジウム

の後、3年で出荷できるよう試験養殖を進め、将来の事業化に向けた育成方法や環境を模索したいと考えている。

**メタンハイドレート
基地港について**

問 メタンハイドレートと蒲郡港のかかわりは何か。

答 今回、蒲郡港が支援基地として活用されたのは、以前、掘削調査を行った実績や蒲郡市がメタンハ

イドレートに関するシンポジウム及び企画展を開催したことに加え、議員による国への要望活動が実った結果であると思う。

**倉舞港防潮扉の
改修工事について**

問 東日本大震災から2年が過ぎようとしている。南海トラフ巨大地震による津波対策として防潮扉は必要なものである。

答 現在、倉舞港には11基の防潮扉が設置されているが、そのうち5基は木製の角落とし式ゲートになっている。

25年度は、1基をステンレス製横引き式のゲートに改築し、残り4基も随時改築したいと考えている。

**市民病院の待ち時間
対策について**

問 市民病院の患者の中には、待合室で長時間診療待ちをしている方が大勢

いる。

そこで、市民病院の待ち時間対策について伺う。

答 待ち時間の苦痛を少しでも和らげてもらうために、各外来に診療状況を表示する番号表示システムを設置したいと考えている。

**競艇場の施設改善工事
について**

問 競艇場施設改善工事の進捗状況はどのようか。

答 23年9月に工事に着手し、1年半ほど経過した。現在の進捗率は20%程度で、25年7月ごろに外装工事が完成するため、新スタンドの全容が見えてくると思う。

完成は、26年2月末を予定し、4月下旬にオープンしたいと考えている。

**立体駐車場の新築工事
は、どのようにしていくのか。**

答 新スタンド完成後、そこに立体駐車場を建設するため、26年夏ごろ工事に着手し、完成は27年2月ごろを予定している。

公明党蒲郡市議団
代表 松本昌成

**食物アレルギーによる
事故の防止策は**

問 東京都調布市で食物アレルギーによる痛ましい事故が発生した。蒲郡市の事故防止対策は。

答 24年度に全学校長、保健主事、養護教諭を対象にアナフィラキシー症状緩和のための補助治療剤エピペンを持つてきている児童は2名いるが、その学校でも講習会を開催し、い



講習会等で使用するエピペントレーナー

ざというときのために準備している。

図書館支援員の配置を

問 緊急雇用創出事業による図書館支援員の配置に対して市教育委員会は、どのように考えているのか。

答 財政の厳しい折ではあるが、今後とも支援員や司書の配置による有用性を関係機関に訴えて、その配置を求めていきたい。

**学校体育館天井等の
落下防止対策を**

問 地震発生時に天井等が落下すると避難所としての利用ができなくなる。天井等落下防止の対策は。

答 25年度予算で小中学校あわせて386万円の耐震点検委託料を計上している。今後は、点検結果に基づき必要な対策を検討していきたい。

空き家対策について

問 市内の空き家の現状と条例化の進捗状況は。

答 24年10月の調査では、市内全域に80棟近い危険廃屋があるとの報告を受けた。市による強制執行が可能となるような条例の制定を検討しており、25年6月議会に提案していきたい。

**名鉄西尾・蒲郡線の
存続について**

問 西尾市と支援内容の合意をしているとのことだが、25年度以降の存続は決定しているのか。

答 25年度から27年度までの3年間で支援金額は両市あわせて年額2億5千万円で合意し、名鉄側に存続を依頼した。正式には3月下旬に予定されている名鉄対策協議会で決定することになっている。

高齢者肺炎球菌ワクチンの接種について

問 接種費用に対する助成の内容と周知の方法は。

答 市民のうち75歳以上の方と一定の障害を持つ

65歳以上の方に1回あたり3千円を助成する。広報への掲載、ポスター等による周知のほか、チラシを後期高齢者医療健康診査の受診券と同封するなどの周知を予定している。

**蒲郡志誠クラブ
代表 喚田孝博**

**効率的な行政運営の
推進について**

問 24年度より実施した施策評価の取り組みは。

答 第4次総合計画の6つの基本目標にある48施策を実施。うち8施策を行革委員会が評価し、24年度中に市長に提言予定である。

**発達障害児支援
について**

問 発達障害には、早い段階での適切な指導が必要だが、就園前の支援は。

答 塩津保育園で就園前発達支援教室、通称「ひこうき組」を実施し、定員10名のところ31名が登録し



就園前発達支援教室「ひこうき組」を実施している塩津保育園

ている。希望者が増加し、今後一園増やし定員40名で週4日の実施を考えたい。

**企業誘致促進事業
について**

問 柏原町堀切地区の用地造成にはどの程度の造成期間を要するのか。

答 規制解除、設計及び造成工事で3年半から4年程度を見込んでいます。

**再生エネルギーの促進
について**

問 促進への取り組み状況と導入計画の策定は。

答 太陽光発電設置補助実績は24年度203件、これまでの累計は803件である。導入計画策定は、現在考えていない。

**地震防災・減災対策
について**

問 緊急輸送道路の見直し、マンホール隆起対策は。

答 第1次緊急輸送道路の国道23号は浸水の可能性があり、今後、県とも調整をしていく。マンホール隆起対策は、先進市の取り組みを参考にしたい。

牧野泰広（自由クラブ）

**公衆用の無線通信網
WiFiの活用は**

問 災害時の情報発信の他、さまざまな活用が期待される地域WiMAXだが、広範囲を網羅するため早めの対応が困難であれば、近年飛躍的に普及したWiFiの活用はどうか。

答 市の施設に、災害時には無料開放となるWiFiスポットを関係事



総務委員会が行った地域WiMAXの視察

業者が4月に稼動する予定である。官民の連携を図りながら、なるべく多くの地域に普及するよう努めたい。

**名鉄西尾・蒲郡線の
協力体制は**

問 蒲郡市と西尾市の名鉄運行協議の合意が、例年より遅れたのはなぜか。

答 条件の相違もあったが、歩み寄り運行期間3年支援金額は両市で2億5千万円での合意に達した。

青山義明（自由クラブ）



学校給食センター

**学校給食の
アレルギー対策は**

問 さまざまなアレルギーがある中、市として症状のある児童・生徒にどのような対策をしているか。

答 アレルギー表示献立表を月単位で該当児童・生徒の保護者に渡し、自ら対象食材を控えるか弁当持参をお願いしている。除去食の提供は体制を刷新しないと難しい。

**学校給食の
放射能汚染対策は**

問 放射能測定器の導入についての市の考えは。出荷の段階で検査が行われているため、市場にあるものは基本的に全て安全という認識をしている。必要に応じて県の学校給食会に検査を依頼すること等により、市が測定器を導入する必要性は薄いと考える。

答 蒲郡市観光景観条例制定への動きは、すばらしい景観を有している蒲郡市にとって、都市景観条例は優先すべき施策と考えるが、どうか。

問 蒲郡市観光景観条例制定した自治体に多い歴史的に保存すべきまとまった町並みが少ない。建築制限をかけることへの住民主導の働きがなければ難しいと考える。

答 蒲郡は条例制定した自治体に多い歴史的に保存すべきまとまった町並みが少ない。建築制限をかけることへの住民主導の働きがなければ難しいと考える。

問 観光交流立市を宣言している蒲郡市として、観光に特化した条例、計画、規則等の制定はできないか。

答 現時点での制定は考えていないが、今後都市景観に関した条例等を考える

**来本健作（無党派）
蒲郡市観光景観条例
制定への動きは**



蒲郡市の観光シンボル「竹島」

る場合には観光の視点も取り入れ考慮していきたい。

- その他の質問
- 1 大塚地区インフラ整備
 - 2 合併及び広域連携・道州制について

尾崎広道（自由クラブ）

問 災害緊急時における契約について

答 24年度の緊急災害時の災害復旧工事の人工賃の算出方法は時間単位では

なかったか。

答 災害復旧工事の費用については作業に要した資材、時間、人工賃などの見積もりを担当課が精査し、その人工賃の算定は愛知県単価を基準とし、業務内容をもとに判断している。

**市役所の
随意契約について**

問 入札すべき金額を超えたにもかかわらず随意契約をした場合に一元的な管理をしていく考えは。

答 法令に基づき随意契約されているか。また、随意契約の状況がどのようになっているかを24年度が終了した段階で把握をしていきたい。

鈴木貴晶（自由クラブ）

問 市役所の発信としてフェイスブックの活用は

答 迅速な情報提供や、関連情報がダイレクトに届くフェイスブックを既に導入している自治体がある。蒲郡市でも競艇場、水族館

竹島水族館の館内の様子



問 等が活用している。市役所としての活用はどうか。

答 一つの物事に対しての情報発信としてはメリットが多い。市役所としての発信は問題も多いと考えるが、検討していきたい。

**競艇場の
市民の声への対応は**

問 ボートウイングは、狭く券券機も少ないと聞くが対応は。

答 喫煙ルームを施設外に移し映像ホールにするためスペースが広がる。券機も新スタンドオープンの際にキャッシュレス投票機を置き利便増進に努める。

柴田安彦（無党派）

東三河広域連合への参加の見直しを

問 東三河地域の広域連携に広域連合が一番さわわしいと選択した理由は。

答 広域連合は法人格を有し、自らの権限で広域行政課題に対応することができ、国や県から幅広く権限移譲を受けられることから、この結論に達した。

問 広域連合を設立すると費用や職員の配置などかなりの事務負担がかかり、設立の負担に見合うだけのメリットが見いだせない。広域連合への不参加や特定



する事務にだけ参加するという選択肢はあるのか。

答 制度的には可能と考えられるが、東三河全域の地域力向上を目的としているため、一部の市町村による広域連合はふさわしくないと考え、今後は東三河全域が活性化するように事務の選択に努めていきたい。

日恵野佳代（無党派 日本共産党）

市民プールについて

問 25年度予算での市民プール代替案は中央小学校のプール利用とラグーナ蒲郡のプールを400円で利用できる割引券を1枚配布するというものだった。市民の意見は聞いたのか。今後の対応はどのようなか。

答 市民から意見は聞いていない。25年度実績を検証し、今後を考えたい。

ボートレース蒲郡のリニューアル工事は

問 23年9月議会議決の当初契約は不確定な部分



ボートレース蒲郡の施設改善後のイメージ図

があり、甘い設計だったと答弁があった。チェックはどのようになっていたのか。
答 変更契約が多額になり申し訳ない。調度は高額だと認識しているのを見直し、結果を4月末までに精査して検討していきたい。

鎌田篤司（自由クラブ）

東三河広域連合の方向性について

問 広域連合議会でも蒲郡市議会の意見を反映させることは可能か。

答 広域連合議会は豊橋市5名、豊川市3名、蒲

郡市、田原市、新城市は各2名、北設3町村は各1名である。蒲郡市議会の意見も反映するよう広域連合準備会に意見を持ち上げたい。

市の公共施設の安全対策について

問 今後1200億円と言われる公共施設見直しに対する資金計画とPFI導入や機能統合の考えは。

答 今後は起債や民間資金を活用したPFIを積極的に導入するなどの幅広い検討のほか、小中学校の一貫校や学校と公民館の機能統合などを考えていく必要があると考えている。

竹内滋泰（自由クラブ）

地域の協力を得たハザードマップ作成を

問 田原市では、職員が地域に出向き、地域の協力を得てハザードマップを作成したとのことだが、蒲郡市でも取り組む考えは。

答 地域ごとのマップは、地域中心で作成しても



田原市のハザードマップ

らい、市は支援をしたい。6月以降に県から新たな被害想定が発表されたら、田原市のものも参考にし、市全体のハザードマップを作成していきたい。

障害者福祉施策について

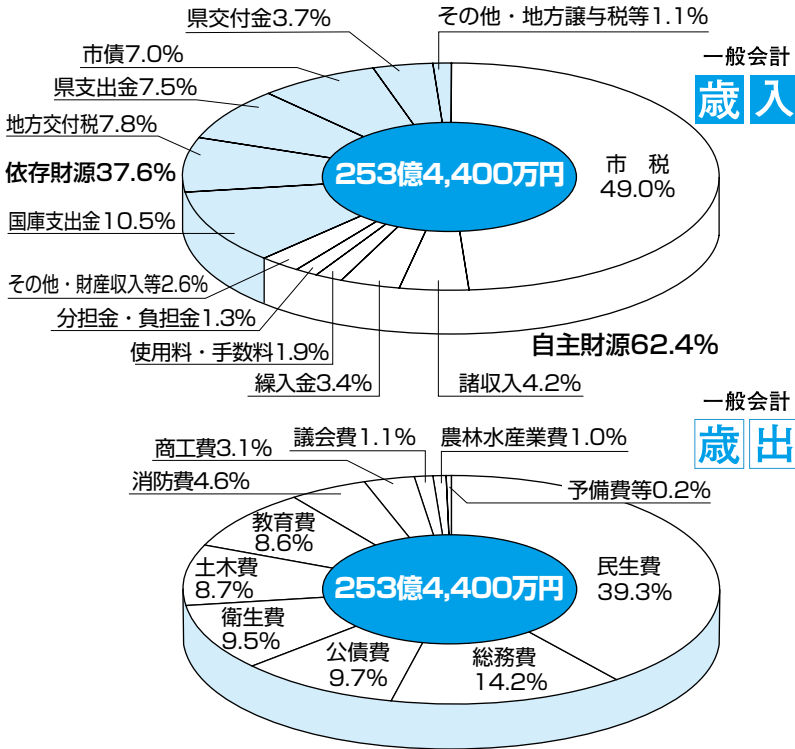
問 市内のグループホームやケアホームの現状は。
答 25年に入り障害者グループホームが1か所完成し、市の第3期障害福祉計画にある24年度までに設置箇所数4か所、定員27人という目標を達成した。

平成25年度一般会計予算 などを議決

1月臨時会
3月定例会

議案

1月市議会臨時会は1月23日に1日の会期で開き、議案3件を審議しました。
また、3月市議会定例会は、2月25日から3月21日までの25日間の会期で開き、議案39件、意見書案1件を審議しました。
平成25年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



平成25年度予算

(単位：万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	253億4,400	1.9%増
特別会計	国民健康保険事業	84億6,280 2.4%増
	介護保険事業	54億540 2.6%増
	後期高齢者医療事業	16億2,910 3.7%増
	モーターボート競走事業	1,086億8,330 3.4%減
	土地区画整理事業	19億6,300 10.3%減
	公共用地対策事業	7,140 13.3%増
	下水道事業	22億7,980 6.4%減
	三谷町財産区	2,750 36.5%減
	西浦町財産区	1,190 11.9%減
	小計	1,285億3,420 2.9%減
企業会計	水道	収益的 16億6,420 3.5%減
	水道	資本的 8億2,020 21.9%増
	病院	収益的 77億4,920 0.8%減
	病院	資本的 15億3,830 110.3%増
小計	117億7,190 7.6%増	
合計	1,656億5,010 1.5%減	

予算審査 特別委員会から

25年度一般会計予算など12会計予算は、18人の委員からなる予算審査特別委員会（委員長新実祥悟、副委員長稲吉郭哲）を設置し、審査をしました。

審査は、3月13日から15日及び18日の4日間にわたり、慎重に行いました。

○ 一般会計予算

■ 歳出

● 総務費

竹島周辺賑わい創出事業

竹島周辺に訪れる観光客の満足度を高め、リピート

● 民生費

地域密着型サービス拠点

24年度からの第5期介護保険事業計画の施設整備の進捗と今後の計画は。

24年度は小規模特別養護老人ホーム「百華苑」を三谷に開所した。25年度には小規模特別養護老人ホームと小規模多機能型居宅介護事業所の計画があり、26年度には同じく小規模特別養護老人ホームと認知症対応型グループホームの計画がある。

● 衛生費

糖尿病大学の開催

蒲郡いきいき市民健康づくり事業のうち、開催を予定している糖尿病大学の詳しい内容は。

3月定例会の日程

《2月》	
25日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、予算大綱説明、議案説明など〕 予算審査特別委員会
《3月》	
4日	本会議〔一般質問〕
5日	本会議〔一般質問〕
6日	本会議〔一般質問〕
8日	総務委員会
11日	経済委員会
12日	文教委員会
13日	予算審査特別委員会
14日	予算審査特別委員会
15日	予算審査特別委員会
18日	予算審査特別委員会
21日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

答 糖尿病予防に関する講話や生活改善のための運動や調理などの実習、血液検査や健診結果に基づく保健指導等を約6か月間で開催する。また、インターネットを利用して家庭で健康チェックができる通信コースも予定している。

●商工費

ミカワコットンプロジェクト

問 市では商工会議所が実施する事業を支援するために補助金を交付しているが、実施事業のうち、ものづくり事業の具体的な内容は。

答 24年度は、織物関係者がNPO法人と協力して農薬を使わずに市内の遊休農

地を利用した棉の栽培を行い、収穫物で試作品をつかった。25年度は、遊休農地の面積を倍にして事業化に向けて加速していきたいと考えているようである。

●消防費

避難所へのPHSの配備

問 避難所にPHSを配備する理由と台数は。

答 PHSのアンテナは電波のカバー範囲が狭いが、設置箇所が点在し、東日本大震災では被害を免れたものも多かった。そのため携帯電話よりつながりやすかったという点を考慮した。配備は避難所指定の20の小中学校と市役所に1台ずつ

つ予定している。

●教育費

学校体育館の天井等耐震化

問 25年度は学校体育館の天井等の耐震点検をすることだが、どのように進めるのか。

答 東日本大震災では学校体育館のつり天井が被害を受けた事例も多く、文部科学省より27年度までに対策を講じるよう通達があった。25年度は12の小中学校と蒲郡中学校の体育館の耐震点検を予定している。

○モーターボート競走事業

特別会計

予算額は、1086億8330万円で前年度比34%減となっております。この会計から土地区画整理事業特別会計に2億1千万円、下水道事業特別会計に5億5千万円、病院事業会計に12億4千万円を繰り出します。

○水道事業会計
年度末給水栓数は、3万1899栓、1日平均給水量2万6575mを予定。収益的収支は7090万円の黒字予算となっております。

○病院事業会計

1日平均入院患者数を263人、外来は785人と見込んでいます。ボート会計から12億4千万円を繰り入れ、収益的収支は7億4890万円の赤字予算です。

1月臨時会

臨時会は、定例会のほか、必要な特定の事件に限って随時これを審議するために招集される議会です。

1月臨時会は、平成23年9月定例会で議決した3件の競走場施設改善工事の請負契約を変更するため、1月23日に1日間の会期で開きました。

●工事請負契約の変更

(競走場施設改善工事等)

(第1～3号議案)

蒲郡競走場施設改善工事のため、五洋建設株式会社名古屋支店と締結した契約金額36億7500万円が45億3675万6千円に変更されます。

また、機械設備工事のため、三建設備工業株式会社名古屋支店と締結した契約金額11億9798万7千円が13億6438万9950

円に、電気設備工事のため、日本電設工業株式会社中部支店と締結した契約金額14億1645万円が16億6429万950円に変更されます。

3月定例会

条例の制定・改正・廃止

●部等設置条例の改正

(第5号議案)

企業誘致及び企業用地の造成に関する市の態度を愛知県企業庁や地元に対して明確にするとともに、事業のスピードアップを図るため、市役所企画部の担当事務に「企業立地及び企業誘致に関する事項」が追加されます。

このため、平成25年4月1日から企業立地推進課が企業立地及び企業誘致に関する業務を開始します。

●市営住宅の整備基準と入居資格等の基準について

(第10、11号議案)

これまで公営住宅法等で定められていた市営住宅の整備基準や入居資格等を市

■ 1月臨時会・3月定例会で審議された議案の一覧

- 条例の制定・改正・廃止
 - ④ 職員の退職手当に関する条例等の一部改正
 - ⑤ 部等設置条例の一部改正
 - ⑥ 手数料条例の一部改正
 - ⑦ 土地開発基金条例の廃止
 - ⑧ 災害派遣手当等の支給に関する条例の全部改正
 - ⑨ 道路占用料条例の一部改正
 - ⑩ 市営住宅等の整備基準を定める条例の制定
 - ⑪ 市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
 - ⑫ 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
 - ⑬ 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定
 - ⑭ 市民会館条例の一部改正
 - ① 市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正
- 予算
 - ⑫ 平成 25 年度一般会計予算
 - ⑬ 平成 25 年度国民健康保険事業特別会計予算
 - ⑭ 平成 25 年度介護保険事業特別会計予算
 - ⑮ 平成 25 年度後期高齢者医療事業特別会計予算
 - ⑯ 平成 25 年度モーターボート競走事業特別会計予算
 - ⑰ 平成 25 年度土地区画整理事業特別会計予算
 - ⑱ 平成 25 年度公共用地対策事業特別会計予算
 - ⑲ 平成 25 年度下水道事業特別会計予算
 - ⑳ 平成 25 年度三谷町財産区特別会計予算
 - ㉑ 平成 25 年度西浦町財産区特別会計予算
 - ㉒ 平成 25 年度水道事業会計予算
 - ㉓ 平成 25 年度病院事業会計予算
- 補正予算
 - ⑳ 平成 24 年度一般会計補正予算（第 6 号）
 - ㉑ 平成 24 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）
 - ㉒ 平成 24 年度土地区画整理事業特別会計補正予算（第 3 号）
 - ㉓ 平成 24 年度下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
 - ㉔ 平成 24 年度水道事業会計補正予算（第 2 号）
- 同意
 - ⑮ 公平委員会委員の選任
 - ⑯ 教育委員会委員の任命
 - ⑰ 固定資産評価審査委員会委員の選任
- その他
 - ① 工事請負契約の変更（蒲郡競走場施設改善工事）
 - ② 工事請負契約の変更（蒲郡競走場施設改善機械設備工事）
 - ③ 工事請負契約の変更（蒲郡競走場施設改善電気設備工事）

市内には多くの楽器演奏の愛好家がありますが、現状は市外の施設やカラオケボックスを借りて練習されています。その方たちの利便

（第14号議案）

●市民会館に音楽室新設
 の条例で定めることとなります。整備基準では蒲郡市の独自規定としてユニバーサルデザインを導入し、安全で安心なものになるよう努めていきます。また、入居資格の収入基準は現在の入居者に影響の少ない現行の基準と同じとしました。

（第23号議案）

●春日浦分譲地を取得
 土地開発公社の長期借入金返済を目的に公社所有の形原町春日浦地内の土地2万4090・59㎡を12億6200万円で取得します。

その他の議案

■ 陳 情

○巡回バスの運行を求める陳情書

提出者 清水芳卓 氏
 審査結果 聞きおく

■ 意見書

①愛知県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書

愛知県知事

（○内の数字は、意見書案番号。全会一致で可決されました。）

- ⑮ 人権擁護委員の候補者の推薦
- ⑯ 訴えの提起
- ⑰ 訴えの提起
- ⑱ 市道の路線認定
- ⑲ 和解
- ㉑ 財産の取得（春日浦分譲地）
- ㉒ 物品の購入（モーターボート競走用モーター及びボート）

（○内の数字は議案番号。ただし、ローマ数字は議員提出議案。①～⑤、㉑、㉒～㉓は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決・同意されました。太字は臨時会で審議された議案です。）

議会日誌

1月8日から4月9日

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1月 | 25日～3月21日 |
| 15日 議会運営委員会理事会 | 3月定例会 |
| 16日 1月臨時会招集告示 | 28日 商工会議所・経済委員会
懇談会 |
| 21日 議会運営委員会 | |
| 23日 1月臨時会 | |
| 28日 国道23号蒲郡バイパス
建設特別委員会 | 3月 |
| 30日 三谷東小学校議場見学 | 12日 議会運営委員会理事会
議会運営委員会 |
| 31日 議会運営委員会理事会
名鉄西尾・蒲郡線存続
協議会 | 21日 議会だより編集委員会
議会運営委員会理事会 |
| | 4月 |
| 2月 | 9日 議会だより編集委員会
議会運営委員会理事会 |
| 7日 全員協議会
議会基本条例・憲章等
検討協議会 | |
| 14日 議会運営委員会理事会 | |
| 18日 3月定例会招集告示
議案説明会
当初予算説明会 | |
| 21日 議会運営委員会理事会
議会運営委員会 | |



5月臨時会 6月定例会の 開会日・日程は

5月市議会臨時会は、5月9日(木)開会予定です。臨時会では、議案の審査のほか任期満了となる各常任委員と議会運営委員の選任等が行われます。

詳しい日程は、5月7日(火)開催予定の議会運営委員会です。それ以後に議会事務局へお問い合わせください。



傍聴席から見た本会議場

問い合わせください。なお、市役所1階ロビーでもお知らせします。

議会だよりは点字版と テープ版も発行しています

6月市議会定例会は、6月12日(水)開会予定です。本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会ホームページに掲載します。そのうちのお知らせ欄をご覧ください。

本会議傍聴を希望される方は、会議当日、市役所新館7階の議会事務局で先着順に傍聴証をお渡しします。

議会だよりは目の不自由な方向けに、点字版とテープ版を発行しています。点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

三谷東小学校の児童が 議場見学に来てくれました

1月30日に三谷東小学校6年生の皆さんが議場見学に来てくれました。



議場見学の様子

議場設備の説明を受けたり、市議会の役割などを勉強していただきました。

3月定例会では代表質問、個人質問、3常任委員会審査、予算審査を経て、より良い行政サービスを求め、補正予算及び平成25年度予算を可決しました。

この状況を市民の皆様にご報告するため、議会だよりを発行させていただいております。もちろん各議員の思いをしっかりと伝えなければなりません。しかしながら議論された案件は多岐にわたっており、限られた紙面ではお伝えしきれません。編集委員としては公平性に配慮しなければなりません。一定の制約の中で、代表質問のスペースを多く取らせていただいております。ご不明な点はお問い合わせください。

また、すでにご案内のとおり、本会議を傍聴することができます。本会議ではインターネット録画中継や全国に先駆けてユーストリームによるライブ中継も行っています。議会だよりと合わせてご覧ください。